

## 令和4年度「市長と語り合う会」について（美濃地区）

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和4年 10月17日（月）	美濃公民館	19:00～20:00	13	4	17

- 市側出席者  
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

### 2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
  - ・ 会の趣旨説明
  - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

#### 1. 令和4年度施政方針「危機を機会に転じる積極思考」

##### ・脱炭素社会の実現に向けた取組

地球温暖化や気象変動は、二酸化炭素等の温室効果ガスの濃度が高まっていくことが原因であると言われており、二酸化炭素の排出を減らす脱炭素の取組が日本だけでなく世界的に求められている。市としても、公共施設の照明をLEDに替えたり、屋根に太陽光発電を設置する等の取組みを行ってきた。また、本年度中に公用車の1台を電気自動車にし、省エネ効果や温室効果ガスの削減効果を検証することとしている。これからも、様々な観点から、この地球に優しい暮らし方、行政の在り方を探っていききたい。

##### ・行政サービスの効率化・最適化を図る「デジタル・トランスフォーメーション」

コロナ禍において、行政運営の在り方というものが新しく見直されており、人が動き手作業で作業することから、コンピューター等を使ったりするデジタル・トランスフォーメーションが必要とされている。特に来年度からの取組みとして、今は申請書を手書きで書いていただいているが、それを職員が聞き取ってデータを入力し必要な書類を整備する書かない窓口や、必要な手続きが1か所で済むような仕組みを検討している。

また、行政サービスの効率化として、政府においてもマイナンバーカードの取得率の向上に向けた取組みがなされており、健康保険証に対応する方針も出された。市としてもマイナンバーカードの普及率を高めることとしているのでご協力をお願いします。

##### ・益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

これまで市では、小学校就学前から小学校、中学校までは、ふるさと教育を行い、益田に生まれて育った子供たちが地元で愛着を持ち、将来益田市に帰り地域貢献してくれるよう意識づけを進めてきた。これからは、高校の3年間も含め、特に中学校と高校の6年間を一貫した流れで教育できるような環境を作っていききたい。

##### ・交通インフラ及び都市基盤整備

益田市の場合は、空港の利活用が必要であり、東京線については、2往復運行が今後も継続していけるよう利用促進を図り、大阪線についても、以前のような通年の運航に戻していきたい。

また、JR山陰本線の収支状況が非常に厳しい状況であることが報道発表された。これまで鉄道といえば、あって当たり前というような感覚だったが、なくてはならないものであるため、鉄道の利用の機運も盛り上げていきたいと考えている。

高速道路については、三隅益田道路の工事が進み、令和7年度に全線開通する見込みである。益田萩間の益田西道路、益田田万川道路についても事業が進んでいる。ここ美濃地区においても、

近くにインターができ利便性も高まると考えている。

益田道路について、久城から高津までの間は、本来は高架道路や橋として繋がる予定であり、またこの区間は高津川と益田川の浸水想定区域になっているので、災害の安全度を高めるためにも当区間の事業進捗も国へ要望していく。

都市基盤整備としては、益田道路の南側の土地区画整理事業を、地元、地権者のご理解をいただきながら進めていきたい。

#### ・ワクチン接種

新型コロナについては、まだ治療薬が無くワクチンが唯一の病気に対抗する手段となっている。既に2回目を終え3回目、或いは4回目を接種される予定の方もおられるかと思うが、今、猛威を振るっているオミクロン株にも対応したワクチンも、今後接種を受けていただく予定としているので、よろしくお願ひしたい。

## 2. 市制施行70周年

昭和27年に、当時の町、村が合併して益田市が誕生し今年が70周年の年になる。11月3日に記念式典をふれあいホールみとで開催し、併せて新型コロナウイルス感染症が広まった初期の頃、ダイヤモンドプリンセス号で爆発的に感染が広がった時、最前線で対処された医師である益田市出身の藤谷先生に記念講演をしていただく事としているので、ぜひ申込みいただきたい。

### ○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 避難所について
- ② 消防団について
- ③ 河川浄化作業について
- ④ 農地の管理について
- ⑤ 地域自治組織について(1)
- ⑥ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う規制について
- ⑦ 狩猟免許の取得について
- ⑧ 地域自治組織について(2)

### ○ 閉会 (秘書課長)

# 令和4年度「市長と語り合う会」

〔会場 美濃公民館 開催日時：令和4年10月17日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 避難所について 公民館が新設され避難所となっているが、土砂災害は対象外となっている。総合的な避難所として活用できるよう、再調査、又は崩壊の危険性があるのであれば対策等してほしい。</p>	<p>① 現状を確認し、必要であれば対策について調査、検討したい。</p>
<p>② 消防団について 消防団員が年々減少する中、現状として消防団OBをサポート者としてお願いし、火災等の際の初期対応等の応援をしていただいている。サポート者の方の力をお借りすることが必要不可欠となっていく中、それらの方の、位置付けや、手当等の処遇について検討してほしい。</p>	<p>② 消防団については、地域防災の要であるが、定員割れの状況が続いており、消防団員への装備の充実や報酬の見直し等進めている。サポート者への処遇等については、検討し必要であれば対応したい。</p>
<p>③ 河川浄化作業について 地域の高齢化が進み、河川清掃が困難となっている。機械化も検討したが高すぎる。数少ない若者も、お金はいいから草を刈らないでもいいかと言う声も出ており、地域としてどうなのかと思う。補助金等銭金の問題ではなくて、できないというのが先行している。座談会など地域と行政で知恵を出し合い考えていく事、場が必要と考える。</p>	<p>③ 住民の皆様のご協力には感謝している。若者がいない状況の中、今後維持していけるのかということは問題と考えている。地区の皆さんの意見や状況を聞き何らかの対応が必要と考える。担当部署に何らかの改善を検討するよう指示する。</p>
<p>④ 農地の管理について 高齢化が進み農地を守っていく事が困難となっている。何とか環境を守り、田を守り次世代に繋げていくよう努力しているが、行政も地元との話し合いや、省力化等検討してほしい。</p>	<p>④ 解決策の難しい問題であると認識している。今後の問題意識として考え、市全体で、農業委員会とも協議しながら、知恵を絞っていきたい。</p>
<p>⑤ 地域自治組織について(1) 当地区においても、地域自治組織を設立し活動しているが、補助金等支援をいただき何とか運営している。今後も引き続き支援をお願いしたい。</p>	<p>⑤ 地域自治組織が持続的に運営できることが、市としてもメリットであるので、継続して活動できるよう市も努力していきたい。</p>
<p>⑥ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う規制について コロナ感染拡大防止に伴い、葬儀において斎場等で制限がかかっているが、行政の指導であるなら、親族等の心情を考慮しもう緩和してもいいのではないかと。</p>	<p>⑥ これまで3密の回避をお願いしてきたが、葬儀のやり方についてまで指導したものでない。いろんな方々の工夫で、今のようなスタイルになっている。中山間地域にとって人との繋がりや、なくてはならないものなので、感染に注意しながら前の社会のあり方に戻していけるよう呼び掛けていきたい。</p>
<p>⑦ 狩猟免許の取得について 高齢化により狩猟免許を持っている者が減ってきている。若い人等が狩猟免許を取得する際の補助などはあるのか。あるなら内容を教えてほしいし、広く周知してほしい。</p>	<p>⑦ 市の補助制度がある。その制度を知ることによって免許を取ろうというようになればいいことなので、いろんな手段でお知らせしたい。</p>

⑧ 地域自治組織について(2)

20地区で地域自治組織が設立されたが、市長として、現状が当初の目的、計画どおりに進んでいるのか見解を教えてほしい。地域のことを行えば自立は困難で両立しないと思う。

⑧ 20 地区で設立できたことは、1 つの成果であり、地域の方のご尽力によるものでありがたいと思っている。自立をしていただく事は一番望ましいが、それは優先事項ではなく、まずは市の補助金等で、財政的に運営をしていただき、地域の困り事等の解決に動いていただくのが地域自治組織の最初のあるべき姿だと思っている。その後、いろんな事業とかで、自立に向けて進めていただければ、大変ありがたいことだと思う。